



## 第2編

# 府中町の環境づくりの方針

- 2.1 本計画の構成
- 2.2 環境づくりの目標像
- 2.3 環境づくりの基本方針
- 2.4 取り組みテーマ

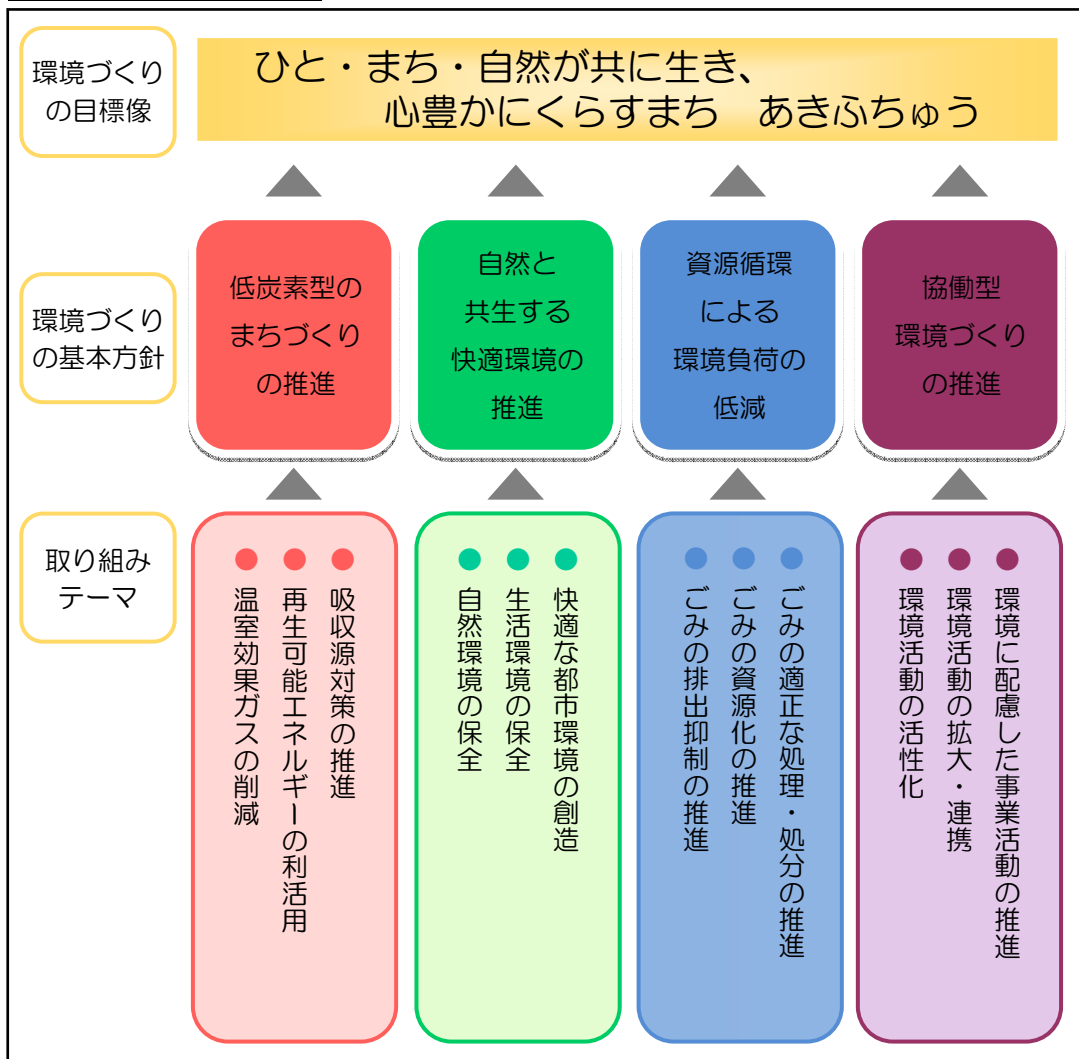


## 2.1 本計画の構成

本計画は、“環境づくりの目標像”“環境づくりの基本方針”“取り組みテーマ”により構成します。それぞれの意味及び全体の体系図は以下に示すとおりです。

環境づくりの目標像	当町で生活または活動する人々が、環境づくりに関する様々な場面で共有すべき目標像です。
環境づくりの基本方針	「環境づくりの目標像」の実現に向け、住民・事業者・行政が実施していく取り組みの方向性です。
取り組みテーマ	「環境づくりの基本方針」に基づき、住民・事業者・行政が取り組むべき行動計画です。

図表 2-1 本計画の体系図



## 2.2 環境づくりの目標像

当町では、まちの将来像である「ひとがきらめき 町が輝く オアシス都市 あきふちゅう」の実現に向け、住民・事業者・行政それぞれが取り組む環境分野の行動計画として平成12（2000）年に「府中町環境基本計画」（以下、「前計画」という。）を策定しました。

前計画では、当町で生活する住民や事業者が、環境を意識した取り組みを実践することで、環境に対する意識を高め、府中町の環境づくりの目標像である「美しい心・まち・自然を育むくらすば、ふちゅう」の実現を目指してきました。

そして現在、これまで培ってきたまちの豊かな自然を、次世代により良い状態で引き継いでいく考えの下、地域活動が活発化し、創意工夫された環境づくりがまちの随所で進められています。

これからの10年間においても、これまで住民や事業者等が築き上げてきたまちに対する誇りや愛着を高め、美しく豊かな“自然”を次世代に継承していくため、心豊かに暮らせる快適な“環境”を意識しながら“住民の生活”や“まちの経済活動”相互の発展を総合的に目指すこととします。

このような考えのもと、府中町の環境づくりの目標像を以下のとおり設定します。

### 環境づくりの 目標像

ひと・まち・自然が共に生き、  
心豊かにくらすまち あきふちゅう

#### 【府中町第2次環境基本計画における環境づくりの視点】

- まちの環境をより良いものにしていくうえで、前計画で培ってきた素地を維持・発展させ、これまで以上の暮らしやすさを目指します。
- まちの豊かな環境や住民の誇り・愛着を維持し、次世代に継承していくことを目指します。
- 人々の生活、まちの自然、それらを支える基盤となる社会、それぞれが支え合い、バランスを保ちながら共生していくことを目指します。

## 2.3 環境づくりの基本方針

環境づくりの目標像「ひと・まち・自然が共に生き、心豊かにくらすまち あきふちゅう」を実現するため、計画改定における着眼点を踏まえ、4つの「環境づくりの基本方針」を設定します。

各基本方針には、“目標指標”及び“目標値”を定めます。目標指標の現状値は、平成27年度現在把握可能な最新年度の値とし、目標年度は、計画最終年度（平成37（2025）年度）とします。

### 基本方針1 低炭素型のまちづくりの推進

地球温暖化によってもたらされる豪雨や生きものへの影響など様々な変化は、今日の私たちの身の回りにも、様々な形で現れてきています。

当町は、戦後から工業とともに小売などの商業も参入することで人口も増え、商工住が揃う住みやすいまちとして発展してきました。しかし、当町における活発な経済活動とともに排出される温室効果ガスは近年明確な削減傾向を示していません。

以上より、これからのまちの環境づくりにおいては、これまでの地球温暖化に向けた取り組みを継続しつつ、新たに地域資源を活用したエネルギーの導入や、効率的なエネルギーの利活用の推進に取り組み、まち全体として温室効果ガスを削減させる低炭素型のまちづくりを目指します。

目標指標	府中町から発生する 温室効果ガス排出量の削減 (前年度比で年1%削減)	現状値 平成27年度※ 1,350.1 千t-CO <sub>2</sub> (平成24年度実績)	目標値 平成37年度 1,220.9 千t-CO <sub>2</sub> 以下
		▶	

### 基本方針2 自然と共生する快適環境の推進

当町は、まちの成長に伴う市街化により、生活が便利に営める反面、緑地や水辺の減少が進んできました。こうした中、緑地や水辺を保全する活動が活発化し、日々の生活の中で自然とのふれあいを求める声が増えるなど、人々の自然に対する関心が大きくなってきています。

以上より、これからのまちの環境づくりにおいては、市街地に残された緑地や水辺の保全や、町内における自然や生きものとのふれあえる場の維持や創出に取り組み、まちで生活する人々が快適に暮らせるまちづくりを目指します。

目標指標	住民の「市街地の緑が豊かで、 自然が保全されている」 に関する評価	現状値 平成27年度 38.2 %	目標値 平成37年度 50.0 % 以上
		▶	

※ 平成27年度現在把握可能な最新年度の温室効果ガス排出量は、平成24年度時点の値であるが、現状値は、平成27年度まで同様の排出量で推移したと仮定した。

### 基本方針3 資源循環による環境負荷の低減

私たちの今日のライフスタイルやワークスタイルは、大量生産・大量消費・大量廃棄の上に成り立っているといても過言ではありません。しかし、このような活動は、天然資源や埋立処分場の枯渇などの様々な問題を引き起こしています。

府中町から発生するごみの量は近年増加傾向となっており、今後のまちの人口や商業施設の増加に伴う資源消費の増加が懸念されます。

以上より、これからのまちの環境づくりにおいては、住民・事業者・行政それぞれが大量生産・大量消費・大量廃棄からの脱却を意識し、日頃から3Rを実践することで資源循環が進んだまちづくりを目指します。

目標指標	住民1人1日あたりのごみ排出量※1	現状値 平成25年度	▶	目標値 平成37年度
		797 g/人・日		717 g/人・日以下
目標指標	府中町全体のリサイクル率	現状値 平成25年度	▶	目標値 平成37年度
		11.8 %		19 % 以上
目標指標	府中町全体の最終処分量	現状値 平成25年度	▶	目標値 平成37年度
		935 t/年		888 t/年以下

### 基本方針4 協働型環境づくりの推進

近年の環境問題は、複雑化・多様化が進んでおり、行政のみによる問題の解決は困難となっています。このため、住民・事業者・行政それぞれが環境を意識し、共に問題解決に取り組んでいくことが求められています。

当町では、前計画に基づいた取り組みにより、住民や事業者による地域の環境活動体制が形成され、日々の生活や事業活動の場において環境を意識し、環境の保全に向けた行動を行う人々が増加しました。

以上より、これからのまちの環境づくりにおいては、これまで培われてきた環境活動の維持を図りつつ、住民・事業者・行政の交流・連携を強化し、様々な主体が協働しやすいまちづくりを目指します。

目標指標	住民・事業者・行政の協働 ・連携した環境づくりの取り組み (3者協働だけでなく、2者間での協働・連携した協議の場も含む)	現状値 平成27年度※2	▶	目標値 平成37年度
		40 回/年 (平成26年度実績)		100 回/年 以上

※1 府中町から排出される1年間のごみ総排出量(家庭系ごみ、事業系ごみ、集団回収量の合計)を1人1日あたりに換算した数値。

※2 平成27年度現在把握可能な最新年度の環境づくりの取り組み回数は、平成26年度時点の値であるが、現状値は、平成27年度まで同様の回数で推移したと仮定した。

## 2.4 取り組みテーマ

環境づくりの基本方針に基づき、住民・事業者・行政のそれぞれが日々の生活や事業活動の場などにおいて実践をしていく取り組みのテーマを設定します。

各取り組みテーマには、住民・事業者・行政それぞれの取り組みについて、“主体別の取り組み方針”を定めるほか、取り組み状況を把握する“指標項目”及び“指標値”を設定します。指標項目の現状値は、平成 27 年度現在把握可能な最新年度の値とし、目標年度は、本計画の中間年度（平成 32（2020）年度）とします。

環境づくりの基本方針	取り組みテーマ
基本方針 1 低炭素型のまちづくりの推進	<b>温室効果ガスの削減</b> 温室効果ガスの削減に向けた環境意識の向上やその実践に取り組みます。
	<b>再生可能エネルギーの利活用</b> 再生可能エネルギーの利活用などに取り組みます。
	<b>吸収源対策の推進</b> 温室効果ガスの吸収源となる緑地の維持や確保に取り組みます。
基本方針 2 自然と共生する快適環境の推進	<b>自然環境の保全</b> 緑や生きものを保全し、自然とのふれあいを身近に感じられる場の維持や創出に取り組みます。
	<b>生活環境の保全</b> 誰もが快適に暮らせる環境を維持し、住み心地の良いまちづくりの創出に取り組みます。
	<b>快適な都市環境の創造</b> 良好な都市景観の保全や快適で魅力あふれるまちづくりに取り組みます。
基本方針 3 資源循環による環境負荷の低減	<b>ごみの排出抑制の推進</b> 家庭や事業所において、発生または排出されるごみの減量に取り組みます。
	<b>ごみの資源化の推進</b> 家庭や事業所において、分別排出を徹底するなど、積極的な資源化に取り組みます。
	<b>ごみの適正な処理・処分の推進</b> 家庭や事業所において、適正分別などの徹底に取り組みます。
基本方針 4 協働型環境づくりの推進	<b>環境活動の活性化</b> 環境に関する知識や意識を高め、町内における環境保全活動の活性化に取り組みます。
	<b>環境活動の拡大・連携</b> 住民・事業者・行政の交流による環境活動の拡大や各主体の連携に取り組みます。
	<b>環境に配慮した事業活動の推進</b> 環境に配慮した事業活動の普及促進に取り組みます。

